

活動実施報告書(令和元年度)

名称: 鹿児島市立真砂保育園

所在地: 真砂町 番地 12号
丁目 27番

4月: ◎蟻やダンゴ虫を探そう! ◎探そう身近なエコ! どんなことがあるのかな?

取組内容

- 前日までにトイレトーパーの芯で双眼鏡を作り、虫さがしを行う。
- 花壇の下などを持ちあげ、蟻やダンゴ虫を見つけ、小さな虫の存在に気づき、地球を身近なところから大切にしていこう。

取組結果・感想等

- 虫を見つけると、声をあげて喜び、指をさしたり、触ろうとしたりする姿が見られた。「虫さんがいたね」「優しくしてあげようね」と声掛けを行うことで、小さな生き物を大切にしようとする姿が見られる様になり、砂をかけたたり捕まえようとする姿は見られなくなってきた。

活動の様子(写真等)



5月: ◎トトロの葉っぱで出かけよう! ◎新聞紙で遊ぼう!(子どもの日・かつおのぼり)

取組内容

- トイモガラ(ずいき)の葉っぱを手に、雨上がりの園庭を散歩する。かぶれないように、持ち手部分はラップを巻き、大きさや重さ、木の枝から落ちる雫が葉っぱに当たる音、そして水たまりに映る自分の姿をしてみる。

取組結果・感想等

- 思ったより重い感触や「パタパタ」と落ちては滑り落ちる雨の雫に大喜びだった。トトロが頭に乘せる葉っぱのようだと子どもたちの間での会話も弾んだ。また、登降園時に「こんなに大きな葉っぱになるんですね!」「どうやって食べるですか?」と親子で見ながら聞きにいらっしやる保護者も見られた。

活動の様子(写真等)



6月： ◎鈴虫の成長を観察しよう！ ◎残さず食べよう！（食育月間）

取組内容

- 卵から孵化させた鈴虫の飼育を始める。鈴虫が成長する様子や美しい音を出す様子に興味や関心を持つ。
- 食育月間にちなみ、給食担当職員と一緒に身近な食品を3色の食品群で色分けしたり、食べ物の持つ働きについて考える。

取組結果・感想等

- 餌やりや掃除を保育士と一緒にする中で最初は飼育ケースを叩いたり、怖がって逃げていた子どもたちが、そっと腕に止ませながら観察できるようになった。
- 話を聞いたり、色分けしたりすることで、食材への興味や関心が高まり、残さず食べようという意識の芽生えが見られた。

活動の様子(写真等)



7月： ◎グリーンカーテンを作ろう！ ◎笹飾りや提灯を作ろう！（七夕・夏まつり）

取組内容

- ヘチマ・ゴーヤ・朝顔をプランターで栽培し、グリーンカーテンを作る。
- 家庭から出たプリン容器等の空き容器を集めて再利用し、提灯を作った。
- エコマザーの話を聞き、地球を守るためにエコ活動が大切なことを知る。

取組結果・感想等

- 暑さが厳しく途中で枯れてしまったが、プールの水を捨てずに掛けるなども併せて進めることが出来た。
- オリジナルの涼しげな提灯が出来た事、身近な廃材が作品になった事を喜び、以降、子どもたちが廃材をなにか再利用できないかと考えるようになった。
- こまめに電気を消す意味や分別して捨てる大切さに気付くことが出来た。

活動の様子(写真等)



8月： ◎夏野菜でクッキング！ ◎大事に使って水遊び！

取組内容

○春に苗を植え、クラスで育てたピーマンとミニトマトを収穫する。

○ピーマンとミニトマトを使って餃子の皮を使ったピザを作っておいしく頂く。

活動の様子(写真等)



取組結果・感想等

○赤く色付いたミニトマトや大きく育ったピーマンを喜んで収穫し、クッキングにも楽しく取り組むことができた。
野菜が苦手な子どももいたが、自分達で育てて調理したことでおいしく食べる事ができ、苦手な物でも大切に頂こうとする気持ちや、残さず食べようとする気持ちを育むことができた。

9月： ◎探してみよう！調べてみよう！（夏の虫）◎身近な素材でプレゼント作り(敬老会)

取組内容

○敬老会に向け、夏の間の水分補給用の空ペットボトルを再利用して小物入れを製作し、祖父母へのプレゼントにした。

○敬老会のクラスの出し物で、狸のしっぽとお腹に見立てる子どもたちの衣装を作る際、荷物の梱包に使われていたクラフト紙と使用済み紙皿を使って製作した。

活動の様子(写真等)



取組結果・感想等

○猛暑の為、例年以上に多く使用した非常用備蓄水(賞味期限間近の為、期限前に消費)の空ペットボトルを再利用した事で、廃棄物の数を大幅に減らすことができた。

○タヌキのしっぽとお腹の衣装も好評で、リサイクル小物入れプレゼントも併せて祖父母へのエコに対する関心を持ってもらう良い機会になった。また、小物入れには、種から育てた花の苗を入れ、家庭で育ててもらえるようにし、とても喜ばれた。

10月: ◎自然の中で遊ぼう(散歩・遠足・運動会)
◎集めてみよう落ち葉や木の実

取組内容

- 園庭に落ちている葉っぱを拾い、一人ずつ紙箱に集め、フクロウの羽やミノムシに見立てて製作を行う。
- 実際に動いている蟹を見る機会が少ない子ども達に、サワガニの飼育を通して、慈しみの気持ちの芽生えを育む。

取組結果・感想等

- 葉っぱの色や形の違いに気づいたり、枚数を数えたりしながら楽しく製作に取り組むことが出来た。その後も園庭で落ち葉を見つけると、遊びに取り入れたりする姿も見られるようになった。
- 横から・上から・裏側からとじっくり観察する。他クラスの子ども達も、朝夕の時間に覗きに来るなど年齢にかかわらず、興味や関心が持てた。

活動の様子(写真等)



11月: ◎芋ほりうんとこしょ!
◎もったいないってどんなこと?

取組内容

- 5月に園の畑に植えた芋の収穫を行う。
- 収穫した芋を使ってスイートポテトを作って美味しくいただく。
- エコレンジャーに来園を依頼し、分別して捨てる事の意味や大切さについて考える。

取組結果・感想等

- 葉や土の感触に驚いたり楽しんだりしながら力を合わせて収穫をする姿が見られた。収穫・調理を通して、食材が口に入るまでの過程に興味をもつ姿もあった。
- エコレンジャーの登場に大喜びし、話をよく聞いていた。今まで、言われるから言われた通りに捨てていたゴミが、表示を見ることで自分でも出来ることに気づき家庭でも話す姿が見られた。

活動の様子(写真等)



12月: ◎いろいろなみかんの種類を知ろう
◎身近な廃材で作って遊ぼう(クリスマス飾り)

取組内容

- トイレトーパーの芯で作ったリースにどんぐりやシールなどを貼り付け、保育室やホールに飾る。
- 絵の具で色を付けた松ぼっくりを、空き容器に紐で吊り下げ、回りに折り紙やシールなどを貼り、舞台上に飾る。
- いろいろなミカンの種類がある事や大きさ形、色の違いに気づく。

取組結果・感想等

- 身近な自然物や廃材を使うことで、子どもたちの「やってみよう」「作りたい」という意欲を引き出すことができた。保育室やホールに飾ることで、より季節感を感じながら過ごす事ができたので良かった。
- 葉っぱの形やとげの有無、香りの違い等に気づく子ども達もいて、登降園の際親子で指さしながら、買い物の際のミカンと比べて話すなど、家庭への広がりが見られた。

活動の様子(写真等)



1月: ◎うんとこしょ! でっかいな! (桜島大根掘り)
◎身近な廃材で作って遊ぼう! (手作り楽器)

取組内容

- 種を蒔いて育てた桜島大根の収穫をする。
- 給食室で調理してもらい、おいしくいただく。
- 牛乳パックにクレヨンでなぐり描きをし、ペットボトルのキャップをつけて、カスタネットにして遊ぶ。

取組結果・感想等

- 小さな種から大きな葉をつけ育っていく様子を日々楽しみに観察していた。どこを持って、引っ張れば抜けるか子ども同士意見を出し合いながら協力して収穫する姿がみられた。
- 子どもたちが知っている身近な素材で楽器を作り、作った物に親しみを持って、喜んで遊んでいた。「そうっと鳴らしてね」「優しくだよ」と言葉を掛けることで、作ったものを大事にしながら遊ぶ姿も見られた。

活動の様子(写真等)



2月: ◎冬野菜でクッキング!
◎身近な廃材で作って飾ろう!(ひなまつり)

取組内容

- 自分たちの育てた冬野菜を収穫して食べる喜びを感じる。
- 食事の中に出てくる食材に触れてその質感や香りに興味や関心を持つ。
- 身近な廃材を使って、製作に取り組む事で廃材を再利用しようとする気持ちやアイデアを引き出す。

活動の様子(写真等)



取組結果・感想等

- 夏にグリーンカーテンで、ゴーヤやへちまを育てたプランターで、ジャガイモ栽培に挑戦した。畑での栽培と違って収穫の数は少なかったが、土の中から見つけ出したジャガイモを手に『わあ!おいしそう!!』と声を上げた。アレルギー除去中の子と一緒に食べられるようフライドポテトにしてもらい美味しく頂いた。
- ひな人形制作は、トイレトペーパーの芯や箱ティッシュの空き箱、紙コップや紙皿等年齢に応じて、様々な作品が出来上がった。
- さらに春の収穫を目指し、サラダ玉ねぎを栽培中。「玉ねぎの匂いがする」と葉っぱに触れながら話す姿も見られる。



3月: ◎咲いた!咲いた!お花が咲いた!
◎続けよう!エコ活動

取組内容

- 昨年のこぼれ種から発芽したパンジーやノースポール等を花壇に移植し、花いっぱい園内整備を行った。
- 使用済みの画用紙等の端紙を再利用してクラスや花のネームプレートを作製した。
- 牛乳パックやスチロール皿、身近な素材や廃材をを使って、卒園児へのプレゼントを作製する。

活動の様子(写真等)



取組結果・感想等

- 花の種や苗の購入費節約になり子ども達もクラス毎の花壇を作った為興味を持って世話をしていた。
- 年度末に多く出る画用紙の端紙が無駄なく使用できた。



1年間取り組んだ感想・ご意見

エコ活動だけでは、子供達の関心も段々薄れていくと感じ、身近な自然へ目を向ける機会を作ることで、環境を守る事の大切さを伝えていけるよう取り組んだ。

年齢なりの活動を進めていけるよう月の活動担当を決めて取り組んだが、年齢にかかわらず興味や関心を持つ機会も相互作用で増えたような気がする。また、自分の園単位のみでなく、エコマザーやエコレンジャーの来園の機会を作ることで、よりリアルに子どもたちに届けられたと思うので、今後も園外の活動にも目を向けてそれらの機関との連携の中で進めていけるとよいと思う。

締め切りが3月初めになっていたが、活動終わりでまとめをしたため非常に遅くなったしまいご迷惑をおかけして、すみませんでした。



フリー保育士も大奮闘しました！！
子どもたちが、3月に水やりを
していた花壇が、今ではこんなに
きれいなお花畑になりました！